

話題提供者

「デュアルユース研究の現状～日本と各国の特徴」

小山田和仁 さん — 政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター (SciREX センター) 専門職・プログラムマネージャー補佐 (政策デザイン領域)

「軍事研究、何を問題とすべきか～歴史から考える」

杉山 滋郎 さん — 北海道大学 大学院理学研究院 特任教授

他 パネリスト

千葉 紀和 さん — 毎日新聞 科学環境部 記者

伊藤 肇 さん — 北海道大学 大学院工学研究院 教授

「デュアルユース」と名のつくもの — 科学技術の進展が抱える両義性を再考する —

公開シンポジウム

2016年 3月 12日 (土)

14:00～17:30 (開場・受付 / 13:30)

北大フロンティア応用科学研究棟レクチャーホールにて

※シンポジウム後には CoSTEP や北大関係者、科学技術コミュニケーションに関心のあるみなさまとの交流会 (参加申込と会費制) をご用意いたします。

シンポジウムでの議論をより深める機会として参加していただければ幸いです。

主 催: 北海道大学 CoSTEP

北大大学院自然科学専攻科学コミュニケーション講座

共 催: 北大理学研究院物理学部門 / 北大物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム (ALP)

みなさまのお越しをお待ちしております。参加費は無料です。

同日 10:00 より CoSTEP 2015 年度成果発表会も開催します。シンポジウム、成果発表会とも、

どなたでも参加できますが、準備の都合がありますので CoSTEP ウェブサイトから参加登録を

お願いいたします。http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/costep/formmail/107/



シンポジウム趣旨

ここ数年「デュアルユース」という言葉が新聞等で目にする機会が増えました。「デュアルユース」とは、軍事と民生の双方に活用可能な科学・技術や研究を指します。また、研究成果が意図に反してテロ等の破壊的行為に悪用・誤用される両義性もデュアルユースと呼ばれます。科学技術がデュアルユースなのは当然だ、という考えもありますが、それで済ませているのでしょうか。

これまで日本でも軍事研究は一部で行われていましたが、競争的資金によって大学や研究機関の参加がより制度化されているのが昨今の日本の流れです。研究環境に国家安全保障という枠組みが導入されることによって、どのような影響があるのでしょうか。

また、このような科学技術政策というトップダウンの流れとは別に、ボトムアップの流れもあります。例えば、3D プリンタや DIY バイオなど、これまで高度な設備と組織がなければできなかったことが、個人レベルでも実現できるようになってきています。市民研究者もデュアルユース問題と無縁ではありません。このような状況の中、研究者や市民はどのようにデュアルユース問題と向き合えばよいのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、この複雑で曖昧なデュアルユース問題について、2名のゲストの講演をもとにひも解いていきます。小山田さんは科学技術政策を専門としており、デュアルユース政策について昨今の状況を、日本だけではなく海外の事例も交えて整理して頂きます。杉山さんには科学史の見地から、過去にあった「デュアルユース」問題と、それをめくつての研究者の動向についてお話し頂きます。

プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会挨拶: 松王政浩 (CoSTEP 代表)
- 14:05 論点整理: 川本思心 (理学研究院准教授)
- 14:15 小山田和仁さんによる話題提供:
デュアルユース研究の現状～日本と各国の特徴
- 15:10 杉山滋郎さんによる話題提供:
軍事研究、何を問題とすべきか～歴史から考える
- 15:10 休憩 (10分)
- 16:20 パネルディスカッション: 小山田さん・杉山さん・千葉さん・伊藤さん
ファシリテーター: 三上直之 (高等教育推進機構准教授)
- 17:25 閉会あいさつ: 新田孝彦 (理事・副学長)
- 18:30 交流会 (参加申し込み制です。社会人: 5000円 / 学生: 3500円)
会場: アспенホテル / CoSTEP ウェブサイトから申込: <http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/costep/formmail/107/>

午前中は 2015 年度 CoSTEP 成果発表会が開かれます。1年間の学びの成果をステージから、さらにポスターで発表します。こちらを合わせてご参加ください。

北海道大学 高等教育推進機構 OEC 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目 phone & fax: 011-706-5320 (代表)
e-mail: office@costep.hucc.hokudai.ac.jp <http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/>

話題提供者紹介

小山田和仁 | おやまだ かずひと

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター 専門職・プログラムマネージャー補佐 (政策デザイン領域)

専門は科学技術政策。2003 年東京大学大学院総合文化科学研究修士課程修了。産業技術総合研究所、日本学術振興会、科学技術振興機構等において、科学技術イノベーション政策に関する調査研究、研究戦略の立案、プログラムマネジメント等に従事。現在、各国のデュアルユース技術の研究開発や革新的研究開発プログラムなど複数の調査研究プロジェクトを実施。その他、科学技術政策に関する若手ネットワーク「サイエンス・トークス」の委員を務める。

杉山滋郎 | すぎやま しげお

北海道大学 大学院理学研究院 特任教授

専門は科学史 (博士 (学術))。東京工業大学理学部応用物理学科卒業。東京大学大学院理学系研究科 科学史・科学基礎論専攻を単位取得退学。物理学史から日本の科学史全般、さらに科学技術コミュニケーションへとその活動範囲を広げる。2005 年に科学技術コミュニケーションの教育組織である CoSTEP を立ち上げ、9 年間代表を務める。著書に「日本の近代科学史」「北の科学者群像」「中谷吉野一人の役に立つ研究をせよ」等。

list of credits

producer: 松王 政浩
coordinator: 川本 思心
editor: 川本 思心
director: 大津 珠子
designer: 大津 珠子
organizer: CoSTEP



Communication in Science & Technology Education & Research Program